

令和7年度 学生募集要項



公益財団法人 中国四国酪農大大学校

岡山県真庭市蒜山西茅部 6 3 2
〒717-0604 TEL (0867) 66-3651
FAX (0867) 66-3652

URL <http://www.rakudai.ac.jp>
E-mail info@rakudai.ac.jp



1. 目的

実践教育による確かな技術と経営感覚に富む酪農の担い手の養成と、酪農を通じて地域社会への貢献ができる健全にして良識ある人材を育成する。

2. 学 制

1) 就学期間 2カ年

1年次：校内において基礎学習（講義、実習、各種講習会等）を実施する。

2年次：4～11月に全国各地の先進酪農家等および校内において長期実務研修を実施する。

12～3月に応用学習（講義、卒業論文、各種講習会等）を実施する。

2) 卒業証書の授与

試験・論文及び技術判定の審査結果により所定の課程を修了したことを校長が認定し、卒業証書並びに本校の**専門士（農業専門課程）**の称号を授与する。

3) 在学中に取得機会のある免許・資格及び技能講習

①家畜（牛）人工授精師免許、受精卵移植師免許

②大型特殊車両運転免許（農耕車限定）

③牽引車両運転免許（農耕車限定）

④削蹄師免許

⑤酪農ヘルパー専門技術員

⑥フォークリフト運転技能講習

⑦車両系建設機械運転技能講習

⑧家畜商免許

3. 教育内容及び履修科目

1) 教育内容

①酪農経営の知識と実践教育による確かな技術を修得させ、酪農の担い手として自立できる人材の育成

②酪農の社会的意義と役割を自覚させ、農山村地域の維持・発展の中核となりうる人材の育成

③学校教育や集団生活を通じた協調性や高いコミュニケーション能力により、社会人として信頼される人材の育成

2) 履修科目

別表カリキュラムのとおり（P5）

4. 募 集 人 員 25名

5. 出 願 資 格

以下のすべての条件を満たす者。

1) 将来、酪農もしくは肉用牛経営又は関連業務に従事することをめざす者。

2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第6章に規定する高等学校を卒業した者もしくは卒業見込みの者。又は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると校長が認めた者。

3) 本校カリキュラムの履修（※）及び寮での集団生活に耐え難い慢性的な健康障害（運動機能の障害、身体機能の障害、精神の機能の障害）がない者

※本校では全科目を必修科目としており、座学のほか付属農場において牛を扱う実習や大型機械の運転・操作実習を行っています。カリキュラム履修に対する健康不安がある場合は事前にご相談ください。

6. 出願手続

1) 願書受付期間

推薦入試 令和6年10月1日(火)～令和6年10月15日(火)(必着)
一般入試1次募集 令和6年11月1日(金)～令和6年11月15日(金)(必着)
一般入試2次募集 令和7年2月3日(月)～令和7年2月17日(月)(必着)
(推薦入試および一般入試1次募集で定員に達した場合2次募集は実施しない)

2) 提出書類(下記書類を一括送付のこと)

- ①入学願書 所定の様式によるもの(写真票、受験票、宛名票を添付のこと。) **様式-1, 4**
- ②履歴書 自筆のもの **様式-2**
- ③最終学校の卒業または卒業見込の証明書(成績調査書に記載が有る場合は不要)
- ④成績調査書
- ⑤推薦書 本校所定の用紙(推薦募集のみ) **様式-3**
高等学校在校生は高等学校長の推薦書。その他の者は最終学歴出身
校長又は学長の推薦書(併願推薦は認めない。)
- ⑥写真 4枚(上半身、脱帽、3.0cm×2.5cmで最近3ヵ月以内に撮影したも
の)、裏面に氏名、撮影日を記入し、3枚は履歴書、写真票、受験票
に貼付のこと。
- ⑦受験料および郵送料
21,000円(郵便為替)
郵便為替の「指定受取人・おなまえ」の欄には何も記入しないで送付
すること。

3) 送付先

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632番地
(公財)中国四国酪農大学校 教務課あて
願書在中と朱書のうえ、簡易書留で送付のこと。

7. 選考方法

1) 推薦入試

- (1) 選考方法:書類審査、小論文、および面接による。
- (2) 試験日および試験会場:令和6年10月25日(金)本校会場
令和6年10月28日(月)岡山会場(岡山国際交流センター)
- (3) 合格発表:合否決定次第本人に通知する。

2) 一般入試

- (1) 選考方法:書類審査、小論文、および面接による。
- (2) 試験日および試験会場:1次募集 令和6年12月2日(月)本校会場
2次募集 令和7年3月3日(月)本校会場
- (3) 合格発表:合否決定次第本人に通知する。

8. 入 学 期 日

令和7年4月上旬

9. 入学金・学費その他経費

- 1) 入 学 金 (入学時) 100,000 円
- 2) 授 業 料 (年額) 400,000 円
- 3) 施設整備費 (入学時) 200,000 円
- 4) 研修教材費 (月額) 10,200 円 (3ヶ月分を入学時に納入) (1年次のみ)
- 5) 教科書代 (入学時) 102,000 円
- 6) 寮 費 (月額見込) 28,000 円 (3ヶ月分を入学時に納入) (光熱水費を除く)
- 7) 食 費 (月額見込) 40,000 円 (3ヶ月分を入学時に納入)
- 8) 同窓会費 (入学時) 10,000 円
- 9) そ の 他 保険料・入寮保証金 (退寮時に修繕費と相殺)・各種資格免許取得等に要する費用

10. 入 学 手 続

1) 推薦入試

入学手続きには、所定の期間内における「入学手続き書類」の提出と入学金、入学時納付金の納入が必要。入学手続きの詳細は、合格者に送付する書類を確認のこと。尚、推薦入試合格者の入学辞退は、原則として認めない。

2) 一般入試

【第1回入学手続】

入学金 100,000 円を下記期日までに納入すること。一旦納入された入学金は返還出来ない所以注意すること。

1次募集：令和6年12月20日(金)

2次募集：令和7年3月14日(金)

【第2回入学手続】

「入学手続き書類」の提出と入学時納付金の納入をすること。入学手続きの詳細は、合格者に送付する書類を確認のこと。

11. 学 生 寮

学生は全員学生寮に入寮する。

食事は年中3食提供される。

12. 学費支援制度

- 1) 日本学生支援機構の奨学金について
 - ・本校は、日本学生支援機構の奨学金制度（貸与のみ）の対象校となっている。
 - ・奨学金の貸与を希望する者は、在籍している高等学校の奨学金担当窓口にお問い合わせのうえ、入学前に申請手続きを行う事。
- 2) 就農準備資金について
 - ・就農者を確保するため、国の事業として、一定の条件を満たす者に対し、在学期間中に交付金（年間 150 万円）を支給する制度が創設されている。
 - ・将来、就農を目指す学生で、交付主体（全国農業会議所）において、交付の対象と認められた場合には、在学中に交付金が支給される。
 - （※この制度は、国の事情により断り無く変更される場合がある。）
- 3) 国の教育ローンについて
 - ・本校は「家庭の経済的負担の軽減」を目的とした、「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)の対象となっている。
 - ・詳しくはホームページ(「国の教育ローン」で検索)または教育ローンコールセンター0570-00-8656(ナビダイヤル)へ。

13. 交通の便 P6（最終ページ）参照

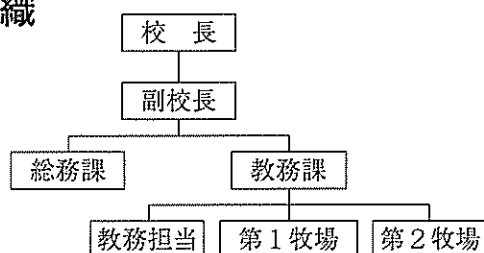
14. 主要施設

本 校	第 1 牧場	第 2 牧場
本 館 体 育 館 学 生 寮	乳牛舎 (50 頭繋ぎ、パイプライン) 育成牛舎、分娩牛舎、和牛繁殖 牛舎、和牛育成牛舎、他	乳牛舎 (90 頭用フリーストール) オートタンデムパーラー (8 ユ ニット) 育成牛舎、他

飼育頭数

- ホルスタイン（第 1 牧場） 80 頭（哺育、育成牛を含む）
- 黒毛和種（第 1 牧場） 40 頭（繁殖牛、育成牛）
- ジャージー（第 2 牧場） 140 頭（哺育、育成牛を含む）

15. 大学校の組織



16. その他

- 1) オープンキャンパス（高校生対象）
 - 開催日程 7～8月で4回、1泊2日
 - 募集人員 各回8名
 - 内 容 学校紹介、搾乳実習、模擬授業、在校生との交流
- 2) 学校説明会・見学会（高校生以上の入学希望者・保護者）
 - 開催日程 7月13日（土）、8月10日（土）
 - 内 容 学校紹介、施設見学、個別相談会

(別 表)

カリキュラム

講 座 名	科 目 名	単 位 時 間 数		
		時 間 計	1 年 次	2 年 次
酪農経営学	畜産概論	15	15	
	酪農基礎学	30	30	
	畜産物流通論	10		10
	酪農経営演習Ⅰ	10	10	
	酪農経営演習Ⅱ	10		10
	農業簿記	20		20
飼 料 学	飼料学	20	20	
	自給飼料学	20	20	
	飼料計算演習	20	20	
	牧草飼料作物演習	10	10	
家畜繁殖学	家畜繁殖学	30	30	
	家畜改良学	20	20	
	家畜審査演習	10	10	
飼養管理学	飼養管理学	20	20	
	搾乳理論	10	10	
	肉用牛管理学	20	20	
	飼養管理演習	30	30	
	酪農機械演習	40	40	
	検査演習	10	10	
家畜衛生学	家畜衛生学	20	20	
	解剖生理学	20	20	
	牛削蹄演習	20	10	10
環境保全学	畜産環境保全学	20	20	
	土壌・肥料学	10	10	
畜産利用学	乳肉加工学	20	20	
	観光酪農概論	10	10	
	乳製品製造演習	10	10	
特 別 講 義	畜産新技術	10	10	
	品質管理学	10	10	
	酪農経営事例紹介	10	10	
	畜産施設視察	20	20	
	講話・教養	65	55	10
卒 業 論 文	卒業論文	80	10	70
	校外研修報告	40	20	20
酪農実習	酪農実習	800	800	
	実務研修	1,600		1,600
合 計		3,120	1,370	1,750
講 義		720	570	150
実 習		2,400	800	1,600

入 学 願 書

公益財団法人 中国四国酪農大学校長 殿

年 月 日

私は貴校に入学したいので必要書類を添え出願いたします。

〒

現 住 所

ふりがな
氏 名

生年月日

昭和
平成

年 月 日生

入学志願の動機

入学後に学びたい内容・計画、本校卒業後を見据えた目標

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for writing the motivation and future goals.

履 歴 書

ふりがな		性別	写真添付欄 (30×25)
氏 名		男・女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	満 才	
現住所	〒()	電話番号 () -	
		携帯電話 () -	
緊急連絡先	〒()	電話番号 () -	
		携帯電話 () -	
ふりがな			
氏 名		本人との続柄	

学 歴 ・ 職 歴	年 (和暦)	月	
			中学校卒業
賞 罰	年 (和暦)	月	
資格・免許・特技	年 (和暦)	月	
得意な学科			趣 味

推 薦 書

年 月 日

公益財団法人 中国四国酪農大学校長 殿

学 校 名

(団 体 名)

校 長 名

印

(団 体 長 名)

下記の者は、貴校の学生として入学するにふさわしい人物と認められますので、責任をもって推薦します。

ふりがな 生徒氏名	男 ・ 女
生年月日	昭和 平成 年 月 日生
推薦理由	

入学志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協力して学ぶ態度」に関する評価について記載すること。また、指導において特に配慮を要するものがあれば記載すること。

写 真 票

写真添付

受験番号	※
氏 名	
住 所	〒
試験会場 <small>(推薦入試のみ)</small>	本校会場 ・ 岡山会場 (どちらか○印を付けて下さい)
連絡事項	※

受 験 票

写真添付

受験番号	※
氏 名	
住 所	〒
試験会場 <small>(推薦入試のみ)</small>	本校会場 ・ 岡山会場 (どちらか○印を付けて下さい)
連絡事項	※

(切り取らないでください。)

宛 名 票 (受験票等送付先)

〒	_____	様
---	-------	---

宛 名 票 (合格通知等送付先)

〒	_____	様
---	-------	---

領 収 書

_____ 殿
金 21,000円
但 受験料および郵送料として
※ 年 月 日
上記正に領収いたしました。
公益財団法人中国四国酪農大学校長

※印には記入しないで下さい

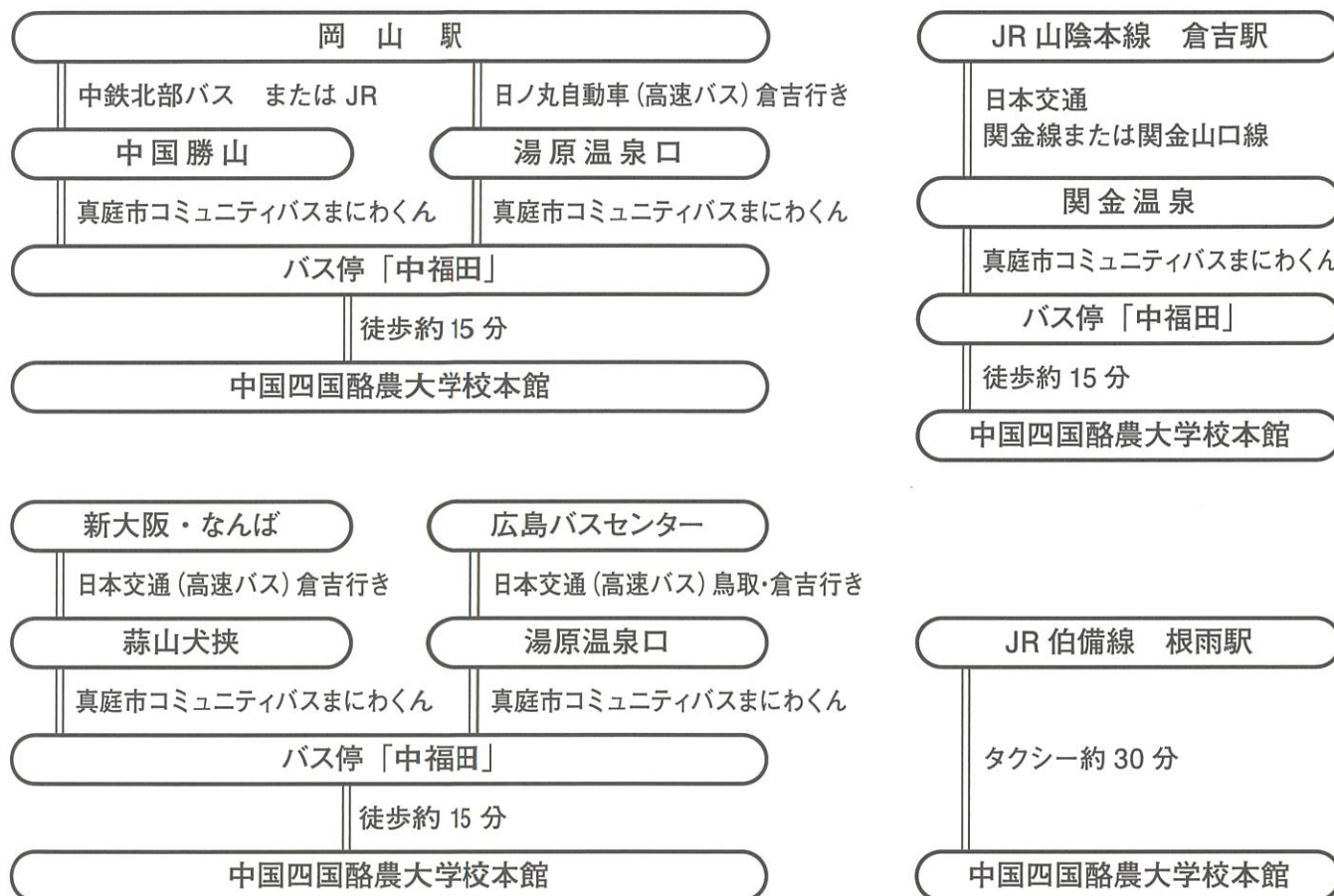
宿 泊 施 設 一 覧

(学校周辺)

施 設 名	(収容人数)	所 在 地	連 絡 先 (TEL)
休暇村 蒜山高原	(390人)	真庭市 蒜山上 福田	66-2501
ホテル 蒜山ヒルズ	(52人)	真庭市 蒜山 富山根	66-7018
蒜山インターホテル	(23人)	真庭市 蒜山上 徳田	66-3136
湯 船 荘	(50人)	真庭市 蒜山 湯船	66-3156
むさしや旅館	(30人)	真庭市 蒜山中 福田	66-3010
フェアフィールド・バイ・マリOTT 岡山 蒜山高原	(198人)	真庭市 蒜山上 徳山	66-7550

市外局番(0867)

公共交通機関によるアクセス



問い合わせ先一覧

中鉄北部バス (津山営業所)	(0868)27-2827
日ノ丸自動車 (倉吉営業所)	(0858)26-4114
日本交通 (倉吉営業所)	(0858)26-1115
真庭市 (市役所市民課)	(0867)42-1017

※時刻表については問い合わせ先に確認してください。
 ※酪農大学校ホームページ『交通・アクセス』もご参照ください。

(公財)中国四国酪農大 学校までの案内図

